

進む人口減少と高齢化

市の人材確保支援事業

持続可能な介護サービス提供体制の構築に向けて

1 国東市介護人材確保・定着・育成支援事業奨励金

就職と資格取得を支援し、人材の確保と定着を図る

市内の介護サービス事業所に就職した方、就職して働きながら介護に関する資格を取得した方に対し、奨励金を支給しています。

※市外在住者も対象です。

①就職奨励金(10万円)

市内の事業所に介護職員として就職した方。

②新卒者・有資格者就職奨励金(5万円)

①の方のうち、新卒者または介護福祉士の資格を有する方。①に加算して支給。

③訪問介護員就職奨励金(10万円)

市内の事業所に訪問介護員として就職した方。

④居宅介護支援専門員就業奨励金(10万円)

市内の居宅介護支援事業所などに介護支援専門員として就職した方。

⑤キャリア形成奨励金(5万円)

社会福祉士・介護福祉士・介護支援専門員の資格を取得した方。

2 介護に関する入門的研修

介護が体験できる研修で、介護人材の関心を広げる

介護の基本が短期間(4日間)で学べる研修を実施します。「介護の仕事を体験してみたい」「家族の介護に備えたい」「知識として介護技術を身に付けたい」など、少しでも介護に興味がありましたら、ぜひご参加ください。

※受講料は無料です。

日時 10月8日(金)、15日(金)、22日(金)、29日(金)
午前9時～午後4時30分

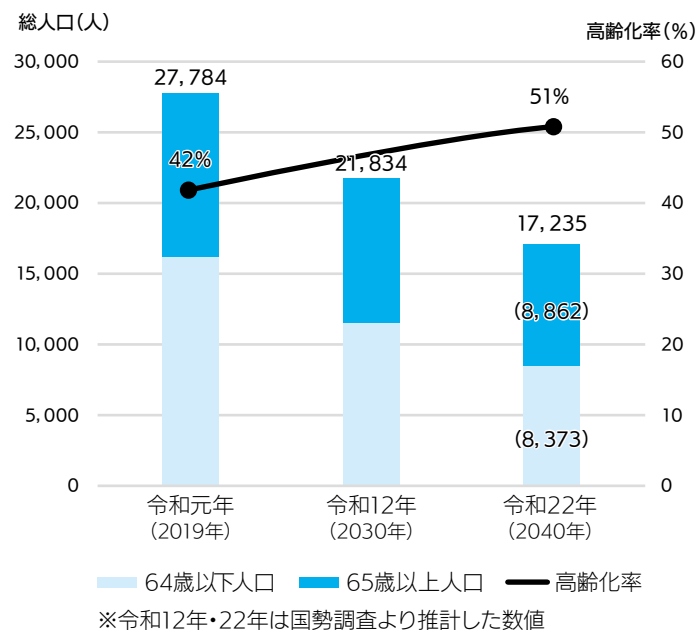
場所 国東市役所

※9月24日(金)までに、高齢者支援課に受講申込書を提出してください。

【申込・問合せ先】

高齢者支援課 高齢者支援係 ☎72-5189

国東市の人口推移と高齢化率



人口減少と高齢化が同時に進み 介護の担い手不足はより深刻化

市の推計によると、高齢者人口(65歳以上人口)よりも64歳以下人口の方が早いペースで減少するため、高齢化率は上昇し続けます。約20年後の令和22年には人口の半数以上を高齢者が占めるようになり、高齢化率が5割を超えます。

64歳以下人口の減少は、介護の担い手の減少につながるため、介護人材の不足がより深刻化する恐れがあります。

市では昨年度より「国東市介護人材確保・定着・育成支援事業奨励金」を開始し、延べ18名に奨励金を交付しました。また、介護人材の関心を広げることを目的とした「介護に関する入門的研修」を今年度より新たに開始します。

これらは、介護職員等雇用状況実態調査を基に始めた事業です。市は、現場の問題意識に沿った、効果的な支援策を行っていきたく考えています。

国東市高齢者支援課
吉武 愛未



不足する介護人材 進む人口減少と高齢化

—— 必要なのは「将来を見据えた支援策」

市内の約6割の事業所で人材が不足

市が市内41か所の介護サービス事業所に実施した介護職員等雇用状況実態調査によれば、24事業所が「介護従事者が不足している」と回答しており、6事業所は「人材不足で新たな介護サービスの依頼に対応できない」と回答しています。すでに市内では、人材不足によって介護サービスを受けたくても受けられない状況が生じています。

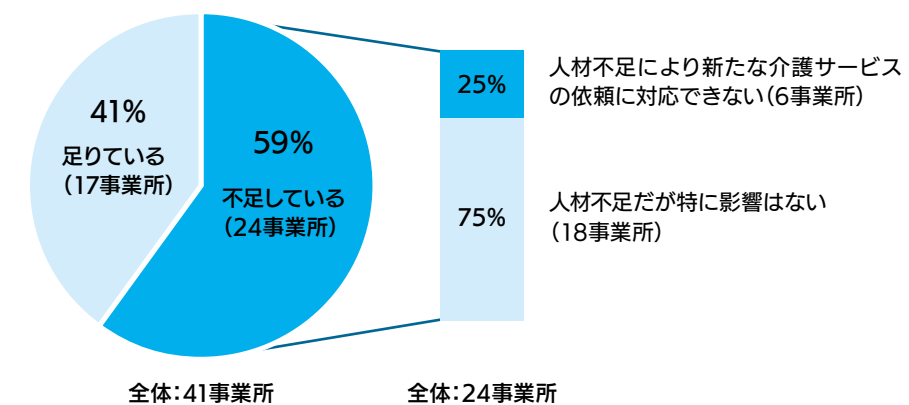
また、同調査での「介護人材の確保・定着で市に期待することについて」という質問に対して、回答が多かった主な項目は「資格取得に向けた支援」「啓発・情報発信の強化」「市内での各種研修の充実」でした。

人口減少と高齢化が同時に進む市の将来を見据え、市は前述の調査結果を基に、介護人材の確保を支援する事業を新設。関係者と連携して、持続可能な介護サービス提供体制の構築を目指していきます。

人材不足の実態が判明

介護職員等雇用状況実態調査

【実施】国東市高齢者支援課 【期間】令和元年～2年 【対象】市内41か所の介護サービス事業所



円グラフ:【質問①】介護従事者の過不足状況について。

棒グラフ:【質問②】介護サービスへの影響について。

※質問②は、質問①で「不足している」と回答した24事業所が対象

【質問③】
介護人材の確保・定着で市に期待することについて。

【回答の多かった主な項目】

- ・資格取得に向けた支援(15事業所)
- ・啓発・情報発信の強化(12事業所)
- ・市内での各種研修の充実(10事業所)